

はじめに

昨年は台風、地震など全国各地で自然災害が発生しました。弊協会も台風21号で六甲アイランドの食堂、コンビニを中心に大きな被害を受けました。しかしながら、(一社)日本港湾福利厚生協会様、神戸港関係者の皆さまのご支援によりまして、早期の復旧が叶いましたこと、心より感謝申し上げます。

さて、政府が公表した3月の月例経済報告では、景気の先行きについて、当面、輸出や生産の一部に弱さが残るものの、緩やかな回復が続くと期待されています。ただ、米中をはじめとした貿易摩擦、英国のEU離脱問題などリスク要因も多く、港運業界への影響も懸念されるところです。

このような中、神戸港のコンテナ取扱量は、台風の影響があったものの、5年連続で増加し、平成30年は約294万TEUと前年比0.5%の増加となり、2年続けて過去最高記録を更新しました。政府をはじめ神戸港関係者の皆さまによる集荷・創荷・競争力強化の現れであり、今後とも、さらなる国際コンテナ戦略施策の推進により、益々の港勢拡大が期待されます。

弊協会の平成30年度決算状況は、収支ベースでは4年連続で黒字を達成することができました。引き続き財政健全化に向けた取り組みに尽力してまいります。

事業別にみると、食堂事業では、台風被害で食堂を営業休止した影響等で売上が対前年度比5.4%の減収となりました。各店舗とも周辺環境が変化する中、メニュー、味付けなど様々な創意工夫を重ねながら、売上の維持に努めてまいりました。今後とも、光熱水費の縮減、食材の一括購入によるコスト削減への取り組みを進めるとともに、港湾労働者をはじめ市民の皆さまに繰り返しご利用いただけるよう、一層の魅力アップを図ってまいります。

コンビニ事業は、台風被害に加え、周辺環境の変化による競争激化の影響もあり、売上が対前年度比1.1%の減収となりました。個別に見ると、ピア六甲店は一昨年のリニューアルオープンの改装効果が現在も維持されプラスとなりましたが、ピア兵庫店は競合店の出店の影響等でマイナスとなりました。しかし、兵庫店独自の販促イベント、また本年2月から設置したイトインコーナーの効果で1月以降は増収が続いており、今後の売上増を期待しています。

住宅事業では、鈴蘭台一ツ楯山共同住宅及びコーポ西町共同住宅は昨年度並みの入居率となりましたが、国産波止場共同住宅は平成29年度から開始した弊協会予算による浴槽及び給湯器の設置が好評で入居率がアップしました。

神戸ポートオアシス指定管理事業では、平成29年7月の運営開始以来、多

くの港湾労働者の皆さま、一般市民の皆さまに多目的ホール、会議室をご利用いただき、運営初年度より利用率はアップしました。

その間、様々なご意見を頂戴し改善に取り組んでまいりましたが、更に親しみやすい会館運営に努めてまいりますので、皆さまの一層のご利用をお願い申し上げます。

今後とも、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

I 事業報告

1. 施設管理運営事業

(1) 総合厚生施設（神戸ポートオアシス・福祉センター）の管理運営

弊協会が指定管理者として運営する「神戸ポートオアシス」は、平成30年度、400名収容多目的ホール及び会議室の利用促進に格段の取り組みを行いました。

労働組合の皆さま、港湾関係企業・団体等のご支援ご利用等により稼働率は大幅な上昇傾向で推移し、多目的ホールで対前年度比17.1%、会議室（502、503会議室）は同16.5%それぞれ増加しています。

ご利用内容としては、会議室は、講演会、各種会議、販売展示会、採用選考会など、多目的ホールでは各種イベント事業者主催の演劇・コンサート、ピアノ教室発表会、合唱団発表会、ファッションショー、そして卒業式・入学式など学校関係行事まで多種多様にわたり、多くの神戸市民が集う一大拠点になりつつあります。

これら取り組みに際しては、ピアノ教室、大学文化サークルをはじめ各種文化団体等へのPR、神戸市が10月に実施した三宮～ウォーターフロント間の接続バス試験運行と連携した施設PR等積極的な情報発信に努めています。さらに、利用者サービスの一層の向上を図るためWi-Fi環境を整備しました。

今後の課題としては、平日における会議室、多目的ホールの利用増と考えており、現在、学生を対象とした「ピアノ練習開放デー」を実施しているほかダンス等各種教室の開催を計画しているところです。

第一福祉センターの会議室及び浴場について、適正な運営に努めてまいりました。

(2) 食堂（ピアハウス）の管理運営

兵庫ふ頭から六甲アイランドまでの神戸港地域に設置のピアハウス9ヶ所の管理運営を行いました。各ピアハウスとも清潔、安全・安心な食事の提供、元気で明るいスタッフがお迎えし、港湾労働者の皆さまを中心に多くの方々にご利用いただいています。

ピアハウス「オアシス」では、リーズナブルなパーティーメニューを提供、会議室でのケータリングサービスを引き続き実施したほか、多目的ホール・会議室利用者に対する「オアシス利用割引券」の配布、オアシス1周年記念感謝セール、ビアバイキング等の季節イベント、みなとこうべ海上花火大会特別販売等を実施し売り上げ増に努めました。

これら取り組みは、利用者増の効果がみられた以外に、昼食終了後も老若男女を問わず談笑されている姿が見受けられ、貴重な昼休憩時間の過ごし方の一つに「オアシス」が憩いの場となり選択されていると思います。

また、9店舗共通で「祝・開港150年ランチ」に引き続き、特別ランチ「得ラン」を提供しました。

平成30年度のピアハウス全体としての経常収益は、台風21号によるピアハウス「六甲2」「六甲3」の高潮被害が復旧に31日間を要するなど営業休止等が大きく影響し、29,910万円（前年度31,617万円）と対前年度比5.4%の減収となりました。

(3) コンビニエンスストア（ピア）の管理運営

港湾の364日24時間荷役に対応するため、神戸港の西部・東部地区に拠点設置している2ヶ所のコンビニエンスストアを引き続き運営しました。

ピア兵庫店では、近隣に大型ショッピングモールが新規開業し大きく影響を受けたと思われる減収となりましたが、店舗独自の販促イベントの実施、お客様からのご要望に応え平成31年2月1日から店内イートインコーナーを設置する等の取り組みにより1月以降増収が続いています。

一方、ピア六甲店は、平成29年1月のリニューアルオープン以降の好調を継続し増収となりましたが、平成30年度のコンビニエンスストア全体の経常収益は、32,560万円（前年度32,924万円）と対前年度比1.1%の減収となりました。

(4) 住宅施設の管理運営

鈴蘭台一ツ楯山共同住宅（196戸）、国産波止場共同住宅（165戸）及びコーポ西町共同住宅（40戸）の共同住宅について、より快適な生活・住環境を提供するため維持補修など万全を期し一層の利用促進を図ってまいりました。

昨年度は、住宅案内パンフレットを作成し、業界団体へPRを行ったほか、各社住宅担当者向け内覧会を実施するなど積極的なPRを行いました。

なお、国産波止場共同住宅については、平成29年度から浴槽及び給湯器を協会予算で順次設置し（総計57戸）、住環境の改善による入居率・収益性の向上に努めました。

平成30年度の入居率は、鈴蘭台一ツ楯山共同住宅61.7%（前年度61.7%）、国産波止場共同住宅78.8%（前年度73.3%）、コーポ西町共同住宅42.5%（前年度42.5%）となりました。

(5) 簡易宿泊所の管理運営（実施事業等会計）

神戸港湾寮（57室）・神戸みなと寮（12室）及び第一福祉センター（35室）の簡易宿泊所の管理運営を行いました。

また、高齢・障害・求職者雇用支援機構所轄の神戸みなと寮は、令和元年度限り廃止が決定されており、合築構造の神戸港湾寮についても廃止となります。

このため、今年度は5回に及ぶ面接相談の結果、7名の方が退去されました。

平成30年度の利用状況は、神戸港湾寮10.5%、神戸みなと寮16.7%、第一福祉センター45.7%でした。

(6) 港湾労働者休憩所の管理運営（実施事業等会計）

平成30年度も神戸市からの業務委託（796万円 消費税込み）を受けて、

港湾労働者休憩所19ヶ所（兵庫、新港、摩耶、ポートアイランド及び六甲アイランドの各地区に設置）の清掃、冷暖房設備の運転・維持管理及び湯茶の提供等の管理運営を行うことにより、港湾関係労働者の福利厚生に取り組みました。

2. 施設整備事業

(1) 港湾厚生施設整備事業

既存厚生施設について、平成30年度も施設の改修及び維持保全に努めてまいりました。

(2) 日港福助成施設整備事業

施設整備事業として、平成30年度も（一社）日本港湾福利厚生協会からの助成を受けて、次の整備事業を実施し、港湾関係労働者の生活・住環境の改善を図ってまいりました。

<工事名>

鈴蘭台一ツ楯山共同住宅1～6号棟電気幹線・給排水設備改修他工事

工 期：着手平成30年10月1日・完成平成31年2月28日

設計監理費：8,748,000円（消費税込み）

改修工事費：96,552,000円（消費税込み）

財 源：（一社）日本港湾福利厚生協会 105,300,000円

<災害復旧追加助成>

また、平成30年9月に上陸した台風21号に伴う高潮により、弊協会運営施設において多大な被害が発生したため、施設整備事業助成追加交付を受けました。

[内訳]

ピアハウス六甲3 厨房機器取替工事等 6,340,000円

ピアハウス六甲2 厨房機器取替工事等 4,970,000円

ピア六甲店・兵庫店 被災用品廃棄等 700,000円

合計 12,010,000円

3. 助成・補助等事業

(1) 契約保養施設利用助成（実施事業等会計）

福利厚生の一環として、契約保養施設（全国140ヶ所）の利用に対して助成を行うことにより、神戸港で働く方やそのご家族の余暇の活用等福利厚生を促進を図ってまいりました。

平成30年度の利用状況は、3,257名（前年度3,091名）、助成額は9

44万円（前年度899万円）、対前年度比5.0%の増加となりました。

(2) 各種技能訓練への補助（実施事業等会計）

公益社団法人神戸港湾教育訓練協会及び港湾労働災害防止協会兵庫県総支部が実施する各種技能訓練への補助（補助金230万円）を行うことを通じて、港湾関係労働者の技能の向上を側面的に支援し、神戸港における港湾運送事業の発展に努めてまいりました。

(3) 港湾殉職者慰霊祭の実施

第40回港湾殉職者慰霊祭を港湾殉職者顕彰碑運営委員会と共催の上、例年どおり、遺族及び港湾関係者多数参列のもと、平成30年11月22日に神戸ポートオアシス多目的ホールに於いて実施し、殉職者の慰霊とともに、広く労働災害防止意識の高揚に努めてまいりました。

4. 各施設の事業成績

(1) 総合厚生施設及びピアハウスの事業成績

① 食堂

区分 施設名	食堂利用者数			収 入 (単位：万円)		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
ピアハウスオアシス	79,103 名	61,266 名	129.1%	3,662	2,836	129.1%
ピアハウス京橋	- 名	17,978 名	-	-	832	-
ピアハウスはとば	- 名	9,484 名	-	-	439	-
ピアハウスひょうご	47,587 名	49,458 名	96.2%	2,203	2,289	96.2%
ピアハウスエイト	48,958 名	48,707 名	100.5%	2,266	2,255	100.5%
ピアハウス摩耶1	66,476 名	67,644 名	98.3%	3,077	3,131	98.3%
ピアハウスポーアイ	65,672 名	66,189 名	99.2%	3,040	3,064	99.2%
ピアハウスポーアイ2	71,859 名	73,958 名	97.2%	3,326	3,424	97.2%
ピアハウス六甲1	92,537 名	89,154 名	103.8%	4,284	4,127	103.8%
ピアハウス六甲2	84,053 名	94,421 名	89.0%	3,891	4,371	89.0%
ピアハウス六甲3	67,678 名	82,595 名	81.9%	3,133	3,823	81.9%
合 計	623,924 名	660,854 名	94.4%	28,881	30,591	94.4%

(注) 台風20・21号高潮被害により「ひょうご」2日・「六甲2」及び「六甲3」31日の営業休止が有りました。

(注) 平成29年度オアシス店は、オープン以降約9か月間の実績です。

(注) 平成29年度の京橋店、はとば店は閉鎖の為、約3ヶ月間の実績です。

② 喫茶・喫茶コーナー (自販機含む)

区分 施設名	喫茶利用者数			収 入 (単位：万円)		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
ピアハウスオアシス	10,966 名	10,672 名	102.8%	1,006	977	103.0%
ピアハウス京橋	- 名	1,599 名	-	-	18	-
ピアハウスはとば	1,148 名	2,037 名	56.3%	3	7	38.5%
ピアハウス摩耶1	1,432 名	1,199 名	119.4%	4	4	120.0%
ピアハウスポーアイ	800 名	889 名	90.0%	2	3	83.1%
ピアハウスポーアイ2	1,771 名	1,961 名	90.3%	6	7	87.9%
ピアハウス六甲1	1,521 名	1,561 名	97.4%	4	5	97.2%
ピアハウス六甲2	389 名	774 名	50.3%	1	3	52.2%
ピアハウス六甲3	525 名	1,095 名	47.9%	2	4	46.9%
合 計	18,552 名	21,787 名	85.2%	1,029	1,026	100.3%

(注) 平成29年度「オアシス」は、オープン以降の約9ヶ月間の実績です。(パーティー・ケータリング売上を含む)

(注) 平成29年度の「京橋」・「はとば」は閉鎖の為、約3ヶ月間の実績です。

(注) 「六甲2」・「六甲3」は、台風高潮被害により平成30年9月までの実績です。

③ 売 店

区分 施設名	売店利用者数			収 入 (単位：万円)		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
第一福祉センター	765 名	1,321 名	57.9%	32	51	61.6%
合 計	765 名	1,321 名	57.9%	32	51	61.6%

(注) 第一福祉センター売店売上は、自販機による煙草販売の実績です。

④ 会議室・浴場

区分 施設名	利用回数			収入（単位：万円）		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
第一福祉センター・会議室	8回	28回	28.6%	1	4	24.8%
第一福祉センター・浴場	3,463名	3,898名	88.8%	66	69	95.0%

⑤ 神戸ポートオアシス ホール・会議室

区分 施設名	利用日数			収入（単位：万円）		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
多目的ホール	141日	60日	235.0%	—	—	—
会議室（502・503）	191日	130日	146.9%	—	—	—
合計	332日	190日	174.7%	—	—	—

（注）平成29年は、7月オープンから9ヶ月間の実績です。

（注）収入については神戸市（指定管理）

⑥ 自動販売機イートインコーナー（24時間）

区分 販売品別	販売個数			収入（単位：万円）		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
飲料水自販機	23,408本	24,305本	96.3%	82	86	95.2%
スナック自販機	1,663個	1,911個	87.0%	1	2	87.0%
食品・パン自販機	3,333個	3,647個	91.4%	2	2	91.2%
合計	28,404個	29,863個	95.1%	86	90	95.0%

(2) コンビニエンスストアの事業成績

区分 施設名	利用者数			収入（単位：万円）		
	30年度	29年度	前年度比	30年度	29年度	前年度比
ピア兵庫店	265,785名	290,448名	91.5%	16,592	17,896	92.7%
ピア六甲店	268,878名	259,189名	103.7%	15,968	15,029	106.2%
合計	534,663名	549,637名	97.3%	32,560	32,924	98.9%

（注）台風20・21号高潮被害等により、「ピア六甲」7日及び「ピア兵庫」6日の営業休止が有りました。

(3) 住宅施設の利用状況

① 各共同住宅

区分 施設名	戸数	利用戸数		
		30年度	29年度	前年度比
コーポ西町住宅	40戸	17戸	17戸	100.0%
一ッ鍬山住宅	196戸	121戸	121戸	100.0%
国産波止場住宅	165戸	130戸	121戸	107.4%
合計	401戸	268戸	259戸	103.5%

② 簡易宿泊所

施設名	室数	利用室数		
		30年度	29年度	前年度比
神戸港湾寮	57室	6室	11室	54.5%
神戸みなと寮	12室	2室	2室	100.0%
第一福祉センター	35室	16室	21室	76.2%
合計	104室	24室	34室	70.6%

(4) 契約保養施設利用状況

施設名	本人	家族	総数	補助金額(円)	前年度比
神戸市関係保養施設	73名	2名	75名	232,000	99.1%
兵庫県関係保養施設	659名	22名	681名	2,021,000	74.0%
協議会・かんぼの宿	35名	7名	42名	119,000	62.0%
日港福関係施設	562名	235名	797名	2,156,000	97.6%
一般旅館施設	1,525名	35名	1,560名	4,645,000	137.1%
国民宿舎	66名	36名	102名	270,000	114.4%
合計	2,920名	337名	3,257名	9,443,000	105.0%

(5) 港湾福利分担金の収入状況

年度	第1次交付金額(円)	施設整備資金(円)
平成23年度	174,462,970	93,120,000
平成24年度	169,828,213	98,490,000
平成25年度	168,287,173	98,230,000
平成26年度	193,225,498	90,180,000
平成27年度	213,305,821	86,130,000
平成28年度	213,306,967	106,380,000
平成29年度	215,577,603	103,830,000
平成30年度	209,087,742	117,310,000

(注) 平成30年度施設整備資金には、災害復旧追加助成 12,010,000円含む